

## 6. 保守・点検

### △注意

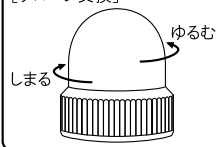
- 使用される電球は必ず「仕様」の項、または「銘板」に表示されたものを使用してください。表示されているもの以外の電球を使用すると、製品の故障や電球焼損の原因となります。
- 感電や火傷防止のため、の必ず電源を切って電球の熱が十分下がってからおこなってください。
- グローブの汚れは水を含んだ柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジンなどで拭くとグローブが劣化します。
- モーターへは注油しないでください。モーター内に油が入り故障の原因となります。
- グローブ交換・電球交換の保守、点検については専門業者または当社へご相談ください。

#### 〔グローブ交換の手順〕

グローブを交換される際は、下記要領でおこなってください。

- ① 電源を切る。
- ② グローブを反時計方向に回し外す。
- ③ 新しいグローブを時計方向に回して取付ける。

#### 〔グローブ交換〕

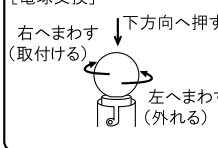


#### 〔電球交換の手順〕

電球を交換される際は、下記要領でおこなってください。

- ① 電源を切る。
- ② グローブを外す。
- ③ 電球を下方へ押しながら反時計方向へ回し外す。
- ④ 新しい電球を下方へ押しながら、時計方向へ回し取り付ける。
- ⑤ グローブを取付ける。

#### 〔電球交換〕



## 7. 補修パーツ

- 補修用パーツをそろえています。ご購入は販売店へご相談ください。  
○ グローブ ○ 反射鏡 ○ 電球 ○ モーター など  
また、「送信機」「受信回転灯」は、それぞれ単品でオプションとして設定しております。

## 8. 「高周波利用設備許可申請書」の届け出について

- 本製品は、送信機より家庭用電線に高周波の信号を送る「電力線搬送方式」を使っておりますので、最寄りの総合通信局への届け出が必要です。添付資料へ必要事項を記入し、最寄りの総合通信局へ送付してください。尚、ご不明な点に関しましては、当社各営業所もしくは技術相談窓口へお問い合わせください。

- 高周波利用設備許可申請書……1部
- 高周波利用設備の添付書類……2部
- 高周波利用設備許可状……1部
- 装置の系統図……1部
- 線路系統図……1部

## 9. 修理を依頼される前に

- 修理を依頼される前に今一度次表の内容をお確かめください。それでも正常に動作しない場合は、修理をご依頼ください。なお、ご不明な点は、当社各営業所もしくはサービス窓口へお問い合わせください。

| トラブル内容                   | 点検項目   | 処置  |
|--------------------------|--|---|
|                          | 電話機に着信音が「小」になっていませんか？  | 電話機に着信音を上げてみてください。  |
| 電話が鳴っても受信回転灯が動作しない       | 送信機ピックアップの位置は正しいですか？<br>発音部にピックアップがついていますか？<br>送信機の感度調整ボリュームが弱くなっていませんか？         | 「ピックアップ取付方法」に従い、ピックアップ位置を確認してください。<br>感度を上げてください。   |
|                          | 回転灯のコンセントは送信機と同一引込線内ですか？ また、同一位相内のコンセントですか？                                      | 同一引込線内、同一位相内のコンセントへ差し換えてください。   |
| 電話の受信に関係なく、回転灯が動作することがある | 裏面のチャンネル設定方法によりチャンネルを切換え、動作確認をおこなってください。<br>同一引込線上で、雑音(ノイズ)の発生する電気製品は使用されていませんか？ | チャンネルを切換え、正常に動作する時は、切換えたチャンネルでご利用ください。<br>接続されている電気製品を1台ずつ止めてどの電気製品が雑音を出しているのか調べ、その機器に雑音防止器を取付けてください。 |

| トラブル内容            | 点検項目                     | 処置                         |
|-------------------|--------------------------|----------------------------|
| 反射鏡は回転するが電球が点灯しない | 電球切れが起きているいませんか？         | 電球が切れているときは新しい電球と交換してください。 |
| プザー仕様でプザーが鳴らない    | 音量調節用ボリュームがMinになっていませんか？ | ボリュームを上げてください。             |

## 10. 仕様

|            | 送信機                       | 受信回転灯             |
|------------|---------------------------|-------------------|
| 定格電圧       | AC 100V (50/60Hz)         |                   |
| 消費電力       | 0.6W                      | 8W(待機時 1W以下)      |
| 使用電圧範囲     | AC90~110V                 |                   |
| ピックアップ検知方式 | コンデンサマイクロホンによる音検知         |                   |
| ピックアップ検知範囲 | 400Hz~5kHz                |                   |
| 信号伝達方式     | 電力線搬送<br>(出力容量:0.6mW)     |                   |
| 閃光数        |                           | 150回/分            |
| 使用電球       |                           | 12V5W (BA15S/G18) |
| 音圧 (DHB型)  |                           | 70dB(at 1m, A特性)  |
| コードの長さ     | ピックアップ線:90cm<br>電源線:180cm | 電源線:180cm         |
| 質量         | 0.16kg                    | 0.6kg             |

### 注意

- この取扱説明書に記載した警告事項・注意事項に反したお取扱いにより発生した故障や損害などについては、責任を負いかねますのでご了承願います。
- 寸法・仕様および構造などは、改善のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする  
**株式会社 パトライト** Y2X-改

**PATLITE Corporation**

|                 |                     |                     |
|-----------------|---------------------|---------------------|
| 本 社 / 〒542-0067 | 大阪府中央区松屋町 8-8       | TEL 03(554)6711     |
| 東 京 / 〒104-0033 | 東京都中央区新川 2-12-15    | TEL 022(256)5656    |
| 仙 台 / 〒983-0852 | 仙台市宮城野区榴岡 3-7-35    | TEL 048(640)2020    |
| 関 東 / 〒330-0845 | さいたま市大宮区仲町 3-13-1   | TEL 045(473)1118    |
| 横 濱 / 〒222-0033 | 横浜市港北区新横浜 2-6-13    | TEL 052(934)2211    |
| 名古屋 / 〒461-0004 | 名古屋市東区葵 3-15-31     | TEL 06(6763)8800    |
| 大 阪 / 〒542-0067 | 大阪府中央区松屋町 8-8       | TEL 082(297)2277    |
| 広島 / 〒733-0011  | 広島府西区横川町 2-9-1      | TEL 092(686)7333    |
| 福岡 / 〒812-0039  | 福岡市博多区冷泉町 5-3-5     | TEL 060-0001        |
| 北海道 / 〒060-0001 | 札幌市中央区北 1 条西 9-3-10 | TEL +81-6-6763-8220 |

International Division Sales & Marketing Department  
Division Internationale Département De Vente & Marketing

8-8 Matsuya-machi, Chuo-ku, Osaka 542-0067 JAPAN TEL. +1-310-328-3222

20130 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501 U.S.A. TEL. +65-6226-1111

No.2 Leng Kee Road, #05-01 Thye Hong Centre, Singapore 159086 TEL. +86-21-6630-8969

Room 512, Jufeng Business Building, No.697-3 Lingshi Road, Shanghai 200072, China TEL. +43-1-961-0655

PATLITE Corporation/European Office  
Teinfaltstrasse 8/4 Stock, 1010, Vienna, Austria TEL. +43-1-961-0655

※電話番号などは、変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

<http://www.patlite.co.jp>

受付時間 9:00~17:00 (無料) 技術相談窓口 0120(497)090 FAX. 079(568)6604  
北/白/祝日と夏期年末年始の休日は、留守番電話でお受けいたします。 ※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または代理店にお問い合わせください。

3119-K  
'09.10.NHI

PATLITE®

3119-K  
B95100118

# 電話ですよ!

## 取扱説明書

電力線搬送式 電話着信音検知器

[ Model : DH-02型 / DHB-02型 ]

このたびは、**パトライト® 電話ですよ!**をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、保守・点検や補修などをするときは、必ず本書を読み返してください。

なお、ご不明な点は、各営業所もしくは技術相談窓口へお問い合わせください。

## 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しております。

**△警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**△注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

### 1. 安全のため必ずお守りいただきたいこと

#### △警告

- グローブを外した状態や、割れた状態での放置・使用はしないでください。感電など非常に危険です。
- 電球交換など補修をされる際は感電や火傷防止のため、必ず電源を切り、電球の熱が下がってからおこなってください。
- 本製品を安全重視の保安目的でご使用される場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時のために、他の機器との併用をおこなってください。

#### △注意

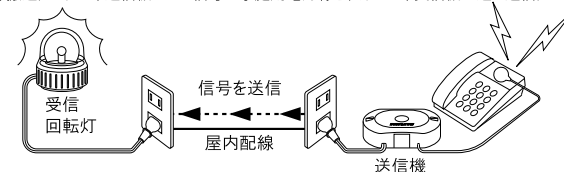
- 本体やピックアップは、防水構造ではありません。屋内もしくは水のかからない場所でご使用ください。漏電や故障の原因となります。
- 電球は必ず製品銘板に表示されている指定のものをご使用ください。指定以外の電球を使用することは、製品故障や電球焼損の原因となります。

### 2. 製品の特長

- 本製品は電話機、インターホンなどの音を検知し、回転灯を動作させます。
- 本製品の送信機・受信回転灯間の信号伝達には電力線搬送方式を使用しております。したがって、送信機と受信回転灯をコンセントに差し込むだけです。電源(AC100V)が通っている場所であれば、配線工事がの必要がありません。

〔電力線搬送とは〕

電力線搬送方式とは、送信機からの信号が家庭用電線を通じて、受信機へ送る通信方式です。

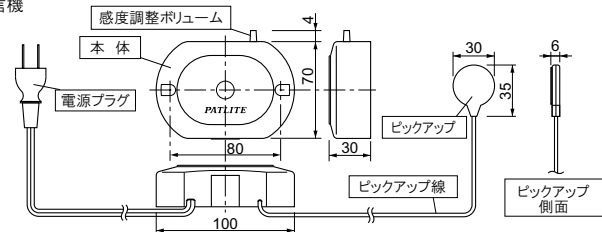


### 3. 対応機器

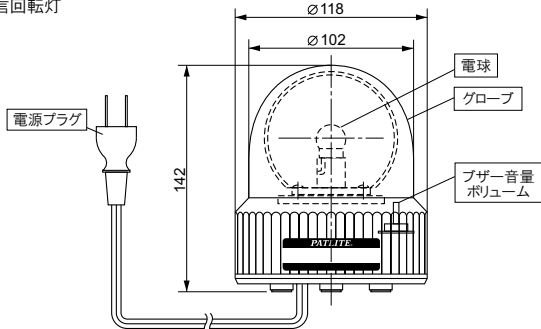
- 音の鳴る電話機、インターホン、プザー、ベルなどに使用可能です。ただし次のような機器には、使用できませんのでご注意ください。
  - 音の鳴らないバイブレーションタイプの機器。
  - 受話器から音の鳴る機器(コードレスホンなど)。
  - 400Hz以下の低音で鳴る機器(福祉用シルバーベルなど)。
  - ピックアップを取付けできない機器。
- ピックアップ取付スペースに、高さ6mm以上が必要です。また、曲面へ取付けた場合検知しにくいことがあります。
- 外線音と内線音が別のスピーカーから鳴る電話機には、どちらか片側しか検知することができません。

## 4. 各部の名称及び外観寸法

### ● 送信機



### ● 受信回転灯



## 5. 取付け・使用方法

### △注意

- 受信回転灯を固定せずに使用される時は、傾斜のある場所や不安定な場所でのご使用は避けてください。製品の落下などで思わぬケガをしたり、故障の原因となります。
- 受信回転灯を固定せずに使用される時は、余ったコードは必ず束ねて処理してください。動くものなどがコードに引っかかり受信回転灯を落とすと、ケガや故障の原因となります。
- ピックアップ・電源用コードを引っばらないでください。故障の原因となります。

### ○注意

- 本製品は異なった敷地間で使用することは、法律で禁じられていますので避けてください。
- 周辺の電気機器や機械などの影響で使用できない場合があります。その際はDT型と回転灯の組み合わせでご使用ください。
- 雑音を発生する電気製品(テレビ・コンピュータ等の一部の製品)があると、それらの電気製品から発生するノイズの影響で、電話機との距離にかかわらず、誤動作することがあります。この場合には、電気製品のコンセントに、市販のフィルタ(雑音防止機)を取り付けると軽減されることがあります。
- 通話中にノイズが入ったり、発着信に支障をきたすことがありますので、本体は電話機よりできるだけ離して設置してください。また、コードレスホンのアンテナに本体やピックアップ線が触れないようにしてください。

### ① 総合通信局への届け出

本製品は、電力線を利用して信号を送受信するため、ご使用にあたっては、総合通信局への届け出が必要となります。同封の書類に必要事項を記入し、お近くの総合通信局へ送付してください。(ご不明な点につきましては、当社各営業所もしくは技術相談窓口へお問い合わせください)

### ② ピックアップ取付け位置、製品の動作確認

送信機・受信回転灯とも同一のコンセントに差し込みます。(受信回転灯が4秒程動作し、止まります)送信機のピックアップを電話機等の呼出し音の出る部分にあて、電話機等を鳴らした時に受信回転灯が正常に動作することを確認します。

### ③ ピックアップ・送信機の取付け方法

※取付けをおこなうときは、送信機の電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

#### 【ピックアップ】

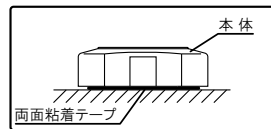
ピックアップについている両面テープの保護紙をはがし、  
②で動作確認ができた位置に貼付けます。



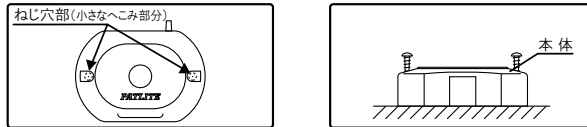
○注意 留守電メッセージなどが流れるスピーカと、呼び出し音の鳴るプザー位置が異なる電話機もございますので必ず位置をご確認のうえ、ピックアップを取り付けてください。

### 【送信機本体】

- 粘着テープによる取付け  
送信機裏面に付属の両面粘着テープを貼り、取り付けます。

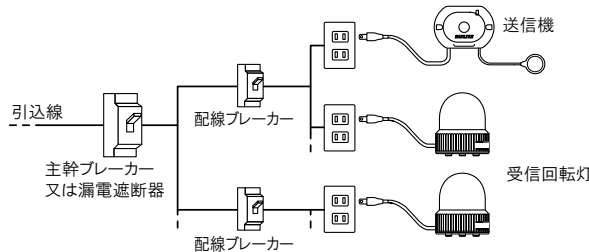


- ねじによる取付け  
付属の一番長いねじ(3×40タッピンねじ)で、下図のねじ穴部の表面膜を破り、ねじ止めします。



### ④ 受信回転灯の接続について

受信回転灯は送信機と同一引込線内のコンセントに接続してください。

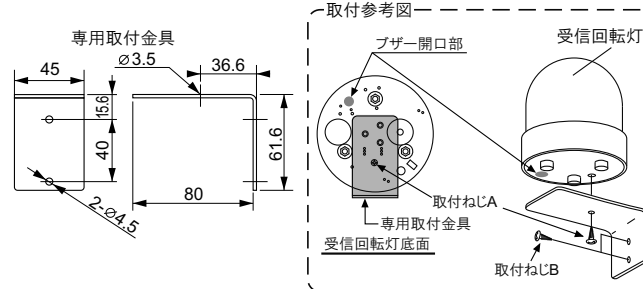


※受信回転灯は3台まで使用できます。

○注意 3線式で引込みをしている建物などでは、異相間のコンセントでは使用できない場合があります。このような場合には、同一相間のコンセントでご使用ください。

### ⑤ 受信回転灯の取付け

取付けをおこなうときは、受信回転灯の電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。受信回転灯は、取付固定せずに置いて使用することができますが、壁面等に固定してお使いになるときは、付属の専用取付金具にて固定してください。専用取付金具を取付けの際には、プザー開口部を塞がないようにしてください。プザー開口部を塞ぐと音圧が低下する恐れがあります。

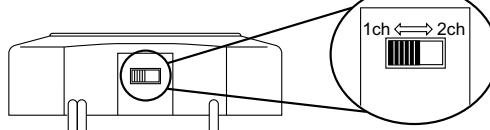


○注意 取付ねじAには、付属のタッピンねじ(3×8mm)をご使用ください。  
取付ねじBには、付属のタッピンねじ(4×10mm)をご使用ください。

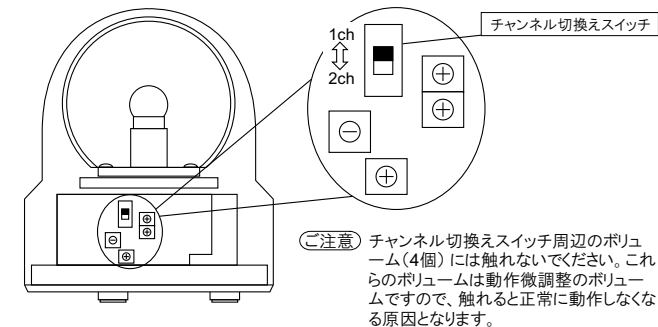
### ⑥ チャンネルの設定

本製品は2チャンネルの切り替えが可能です。同一引込線(建物内)で2組使用される場合は混信を避けるため、製品のチャンネル切換えスイッチにてチャンネルを区別してご使用ください。(同じチャンネルを使用すると1台の送信機で全ての受信回転灯が動作しています。)

[送信機のチャンネル切換え]



### 【受信回転灯のチャンネル切換え】



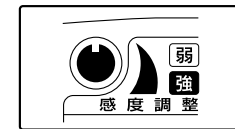
○注意 チャンネル切換えスイッチ周辺のボリューム(4個)には触れないでください。これらのボリュームは動作微調整のボリュームですので、触れると正常に動作しなくなる原因となります。

### ⑦ 感度調整(ピックアップ感度)

音を検知するピックアップの感度は、出荷時最大の状態となっており、小さな音でも反応しやすいので、周囲の騒音や受話器を強く置いた時の衝撃音等で誤動作する場合は、以下の手順で感度調整をしてください。

#### 【感度調整方法】

- 感度調整ボリュームのつまみを「弱」方向(感度の鈍い状態)へいっぱい回してください。
- 電話機を鳴らしてください。
- 感度調整ボリュームのつまみを「強」方向へゆっくりと回し少しずつ感度を上げ、作動した位置で止めてください。



### 電話を鳴らすには次のような方法があります

- 電話機自体に音量・音色確認用機能のついているタイプがあります。
- 他の電話機よりかける。(受話器を取らなければ通話料はかかりません)
- 親子電話の子機よりかける。(無料)

### ⑧ プザーの音量調整方法(DHB型)

### △注意

- ボリュームつまみはMax及びMinの位置で止まるようになっております。無理な力でそれ以上回さないでください。故障の原因となります。

### ○注意

音量調節用ボリュームの横にある小さなボリューム(VR1, VR2, VR3)には触れないでください。(このボリュームは音質調整用ですので、ずれると最大音圧を満たせなくなることがあります。)

#### 【音量調整方法】

DHB型にはプザーがついています。使用される場所に応じて、以下の手順で音量を調節してください。(プザーの音量調節用ボリュームは、グローブを外した内部についております)

- グローブを反時計方向に回し、外してください。(詳細は「グローブ交換の手順」を参照ください)
- 内部についているボリュームのつまみを、時計方向に回すと音量が高くなり、反時計方向に回すと音量が低くなります。

